

なら 植防ニュース

平成 2 6 年度奈良県農薬安全使用研修会が行われた。

7 月 2 3 日に奈良県郡山総合庁舎で研修会が開催された。講師 乾公正氏（石原産業株式会社）を招いて講演が行われた。

農薬は、高品質の農産物の安定生産のために不可欠な生産資材である。農薬は安全性評価を実施して合格されたものが登録される。しかし、誤った選び方や使用により使用者本人、周辺住民、周辺作物や周辺環境に悪影響を及ぼすことがある。このため、農薬の使用者は農薬に関する正しい知識を持ち、正しく使用する責任がある。

農作物の食の安全性確保のための基本的な考え方としては、毎日の食事を通して摂取する農薬の量はその農薬の ADI（一日摂取許容量）を越えないようにすることである。ADI は人が食品中に含まれる化学物質を毎日摂取しても健康影響が生じないと推定される一日あたりの摂取量で、mg / kg 体重/日で示される。ADI は毒性試験において何ら有害作用が認められなかった最大の用量を安全係数（100）で割って求める。残留農薬の摂取基準は ADI の 80% を越えない値が設定されている。農薬ラベルの使用基準は残留基準を超えないように定められている。農薬使用者がラベル表示を遵守することで安全な農産物を生産できる。

住宅地で農薬を使用する場合、使用者は農薬が飛散することを防止するために必要

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒 634-0813 橿原市四条町 8 8
奈良県農業研究開発センター内
TEL0744(22)8151
FAX0744(22)8152(専用)

目 次

◎平成 26 年度農薬安全使用研修会	1
◎平成 29 回報農会シンポジウム	2
◎日本ダニ学会盛岡大会の報告	3
◎登録失効になった農薬 (FAMIC の失効農薬情報より)	4

な措置をとるよう努めなければならない。周辺住民へ目的・散布日時・使用農薬等について十分な周知を行い、立て看板などにより農薬使用者以外が散布区域内へ入らないよう配慮することが必要である。

疑義資材とは、農薬登録を受けることなく、何らかの形で農作物等への使用が推奨され、かつ、農薬としての効能効果を標榜しているか、もしくは、成分からみて農薬に該当するものとされている。使用者は農薬を使用する前に農林水産省の登録番号があることを確認する必要がある。



平成 29 回報農会シンポジウム 植物保護ハイビジョンー 2014「激動する農業環境における革新的技術と経営評価」

奈良県植物防疫協会 岡山 健夫

平成 26 年 9 月 30 日に東京都「北とぴあ」でシンポジウムが開催された。はじめに上路雅子日本植物防疫協会・報農会理事長から挨拶があり、農水省が取り組む「攻めの農林水産業」の実現を目標に、食の安全、輸出、自給力向上の具体例を紹介するとした。

①一次か 6 次へ、埼玉から世界へ 貫井香織(有限会社貫井園)：父親が経営する茶と原木しいたけの販売ルートを拡大し、フランスやスペイン、アジアへの輸出を目指している。経済学部卒業後コンサルタント会社や PR 会社勤務を経て就農し、IT と宅配を活用して販路を拡大するとともに、日本グローバルファーマー連絡協議会を立ち上げ、品目、地域を問わず、海外生産を含め意欲的な仲間づくりを進めている。就農当初は母親の反対にあったが、現在では自宅店舗だけでなく、スーパー 5 カ所、産直 2 カ所で販売し、外部企業との連携によってマルシェ・イベント、レストランへの卸、オンラインショップへと販路を拡大している。海外では和食ブームだが、食材が少なく有望視している。

②臭化メチル剤から完全に脱却した産地適合适型栽培マニュアル 津田新哉(中央農研)：メロンえそ斑点や CGMMV、ピーマンモザイク病など土壌伝染性ウイルス病対策をマニュアル化した。汚染度を 3 段階に分け、残渣の腐熟、生分解性ポット、植物ワ

クチンの利用によって減収を回避した。

③天敵を中心とした IPM 古味一洋(高知県農業推進課)：ナスのミナミキイロアザミウマ対策は、タイリクヒメハナカメムシ、粒剤処理、選択性殺虫剤の併用に加え、他の害虫に対する天敵利用や黄色蛍光灯、防虫ネットの導入が進み、IPM が安定した。しかし、この時期からタバココナジラミの発生が問題になり、当時の IPM 体系は無防備であったため天敵利用が大きく減少した。そこで、土着天敵タバコカスミカメによる効果を見出し、ゴマによる増殖を生産者とともに進めて IPM を再構築した。

④飼料用米生産の取り組み 高橋新悦(岩手県農事組合法人遊新)：コープネット事業連合が販売する米で育てた豚肉生産のための飼料用米生産を 5 集落営農組織で進めている。当初は防除を行わなかったが、近隣水田への悪影響を避けるためイモチ病やカメムシ防除が必要になっている。また、食用米への混入を避けるため、植え付け時期や CE の利用に注意が払われている。

①水稲の減農薬栽培導入に関する経営的・環境的評価 増田清敬(滋賀県立大学)：線形計画法と LCA (ライフサイクルアセスメント) によって経営と環境負荷を比較した結果、減農薬水田経営は、慣行に比べ農業所得が減少し、環境影響に対する改善効果はごくわずかか、悪化することがわかった。

2014 年 10 月 18 日・19 日にわたり、岩手県盛岡市にて日本ダニ学会第 23 回大会が開催され、シンポジウムとして 3 題、一般講演として 26 題の講演が行われた。そのうち、シンポジウムを紹介する。

1. 青森県のリンゴにおけるハダニ類の変遷とその背景 (青森県産業技術センターりんご研究所 木村佳子)

主に、(1)薬剤抵抗性の獲得による使用殺ダニ剤の変遷、(2)殺虫剤の変遷、(3)天敵類の発生の、3つの話題が提供された。有機リン剤が多用されていた 1980 年代後半の慣行防除園ではカブリダニはほとんど見られなかったが、ネオニコチノイド剤が主流となり始めた 2000 年代からカブリダニが見られるようになってきた。今後は、カブリダニ類の保護利用を前提とした防除体系の構築の必要である。

1. 秋田県のリンゴ園におけるカブリダニを利用したナミハダニ防除の試み (秋田県果樹試験場 舟山健)

リンゴ園におけるナミハダニの多発生は非選択性殺虫剤の合成ピレスロイド剤が使用され始めた 1980 年代以降に起こっており、それ以前は重要害虫ではなかった。慣

行区(非選択性殺虫剤散布・慣行除草)と天敵保護区(選択性殺虫剤散布・無除草)のリンゴほ場で比較したところ、慣行区ではカブリダニが少なく、ナミハダニは7月に増加した。一方、天敵保護区ではカブリダニが通年で観察され、ナミハダニは慣行区よりも明らかに少なかった。リンゴ園における非選択性殺虫剤の散布などの天敵に強く影響する栽培管理を改め、各種の土着カブリダニを保護すれば、ナミハダニは発生しにくくなると考えられた。

3. 岩手県内のリンゴ園地におけるハダニ類の発生状況と薬剤感受性の変化 (岩手県農業研究センター 羽田厚)

岩手県内各地のリンゴ園地から採取したナミハダニ個体群への薬剤感受性検定の結果、散布実績の違いにより、シフルメトフェン(ダニサラバ)およびシエノピラフェン(スターマイト)に対する感受性が異なった。この2剤に対する抵抗性は一要因に起因する交差抵抗性ではなく、複数の要因によるものか、あるいはその両タイプが同時に発現していると考えられた。

なお、次回の 2015 年度大会は、法政大学(東京都)での開催である。

登録農薬失効情報(2014. 6. 1~9. 30)

農林水産消費安全技術センター農薬検査部の登録農薬失効情報より抜粋

登録番	農薬の種類	農薬の名称	申請者	失効
殺虫剤				
4806	ジメトエート乳剤	ホクコージメトエート乳剤	北興化学	9/4
10411	C Y A P 粉剤	ヤシマサイアノックス粉剤	協友アグリ	9/25
14747	クロルピリホスメチル乳剤	日産レルダン乳剤 2.5	日産化学	9/24
16842	フルバリネート・N A C 水和剤	ナガセマブリックナック水和剤	長瀬産業	7/7
17176	エトフェンプロックス水和剤	サンケイトレボン水和剤	サンケイ	7/10
17619	シフルトリン液剤	バイスロイド液剤 A L	バリエル	8/3
20244	イミダクロプリド・シフルトリン液剤	テガール液剤 A L	バリエル	9/27
20245	イミダクロプリド・シフルトリン液剤	ムシムシ液剤 A L	レイホー	9/27
21512	インドキサカルブ M P 水和剤	ライトニング	デューポン	6/1
21579	アセフェート・イミダクロプリド水和剤	ホクコーオルトランアドマイヤー顆粒水和剤	北興化学	8/27
22236	ペルメトリン乳剤	花ベジタ	住化ケラー	9/10
22251	D C I P ・ D - D くん蒸剤	ブラズマ油剤	イステイア	9/10
殺虫殺菌剤				
16848	M E P ・ フサライド粉剤	ホクコーラブサイドスミチオン粉剤 3 D L	北興化学	7/27
17630	M E P ・ カスガマイシン・フサライド水和剤	ホクコーカスラプスミソル	北興化学	8/20
19253	シラフルオフェン・カスガマイシン・フサライド粉剤	カスラブジョーカー粉剤 3 D L	北興化学	6/7
19257	シラフルオフェン・テブフェノジド・カスガマイシン・フサライド粉剤	カスラブミミックジョーカー粉剤 3 D L	北興化学	6/7
19280	シラフルオフェン・ベンズルタップ・バリダマイシン粉剤	ホクコールーバンバリダジョーカー粉剤 D L	北興化学	7/8
20242	シラフルオフェン・M E P ・ カスガマイシン・フサライド粉剤	フルセット粉剤 D L	北興化学	9/27
21509	イミダクロプリド・スピノサド・チアジニル粒剤	D A S ブイゲットアドマイヤースピノ箱粒剤	ダウケミカル	6/1
殺菌剤				
14619	ジチアノン・有機銅水和剤	ジアリン水和剤	ガクショウ	6/10
14620	ジチアノン・有機銅水和剤	金鳥ジアリン水和剤	除虫菊	6/10
18385	銅水和剤	クミアイコサイド D F	ケミテック	6/11
18399	オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン・銅水和剤	ファイザーバクテサイド水和剤	ゾエティス	6/21
19292	イプロジオン・T P N 水和剤	S D S プラタンフロアブル	イステイア	7/22
19294	イプロジオン・T P N 水和剤	日産プラタンフロアブル	日産化学	7/22
20208	イソプロチオラン粒剤	ヤシマフジワン 1 キロ粒剤	協友アグリ	8/6
19340	トリシクラゾール・プロヘキサジオンカルシウム塩粉剤	ビームビビフル粉剤 5 D L	ケミテック	9/27
除草剤				
10388	M C P A ナトリウム塩水溶剤	石原粉状 M C P 水溶剤	石原産業	9/25
15870	シアン酸塩水溶剤	石原シアンサンソーダ	石原産業	9/28
20201	アジメスルフロンのカフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロンのメチル粒剤	D A S ジョイスター A 1 キロ粒剤 3.6	ダウケミカル	6/29
20200	カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・	D A S ジョイスター L フロアブル	ダウケミカル	6/29
20202	ベンスルフロンのメチル水和剤、粒剤	D A S ジョイスター 1 キロ粒剤 5.1	ダウケミカル	6/29
20203		D A S ジョイスターフロアブル	ダウケミカル	6/29
20226	インダノファン・ピラゾスルフロンのエチル粒剤	キリフダ 1 キロ粒剤	日産化学	8/24
20872	カルフェントラゾンエチル水和剤	タスク D F	エフエムケミ	8/29
21553	インダノファン・ピラゾスルフロンのエチル・プロモブチド粒剤	協友キリフダエースジャンボ	協友アグリ	9/21
22212	エトキシスルフロンの水和剤	日曹グラッチェ顆粒水和剤	日本曹達	7/23
22239		ロングキック L フロアブル	デューポン	9/10
22241		ロングキックフロアブル	デューポン	9/10
22243	クロメプロップ・フェントラザミド・ベンスルフロンのメチル水和剤、粒剤	ロングキックジャンボ	デューポン	9/10
22245		ロングキック 1 キロ粒剤 5.1	デューポン	9/10
22247		ロングキック 1 キロ粒剤 7.5	デューポン	9/10
22250		ロングキック D 1 キロ粒剤 5.1	デューポン	9/10
22971	ジメテナミド P ・ プロマシル粒剤	クサスッキリ	レイホー	9/28

前回のこのページに質問がありました。20171シロマジン液剤(8.3%)の失効について、22178シロマジン液剤(8.7%)があると質問がありました。農薬はメーカーごとに登録しており、同一成分の農薬が複数登録されている場合があります。そのうちの1剤が失効したという情報です。失効理由は紙面の関係で割愛していますので、FAMICのホームページでご確認ください。